

2022年度保護者による児童発達支援評価集計結果(%表示)

児童発達支援事業所 ぶりんぐ音更

実施期間:2月15日～2月28日

※24名配布 24名回答 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答	実情・改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	92	8			設置基準は満たしていますが、走り回れるような広い部屋がありません。お子様のエネルギーを発散させてあげたい保護者様には満足できていないかもしれません。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	96	4			配置基準は満たしておりますが、ぎりぎりの人数で運営しております。事業所内での学習、研修への参加を積極的に利用し専門性を高めます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの配置など、バリアフリー化の配慮が適切になされている	96	4			ほぼ満足頂いているようですが、手すりの設置はできておりません。要請があれば設置します。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画が作成されている	83	17			保護者様との面接をさらに充実し、要望を伺い、お子様の状態像と、達成課題を把握しながら計画を作成します。
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	83	17			スキルを身に着けるにはある程度の期間、同じ内容を繰り返す必要があります。但し、スキルが定着したらステップアップします。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	50	42		個別の療育、家庭での適切な対応により適応を図ることを基本と考えており、健常児との交流は特に考えておりません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされた	92	8			ほぼ満足頂いているようですが、より一層丁寧な説明を心掛けます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	100				保護者面接、療育終了後の担当者の説明を評価していただいたものと受け止めています。現状を維持できるよう努めます。
	⑨	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われている	100				保護者面接、療育終了後の担当者の説明を評価していただいたものと受け止めています。現状を維持できるよう努めます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されている	13	29	58		保護者様たちとの学習会を開きたいと考えておりますが、コロナ感染の状況を見ながら対応したいと思っております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	71	25	4		対応が十分ではないようでした。特に周知の徹底が不十分であったと反省しております。迅速な対応と周知に取り組みます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	92	8			頑張ってはいますが、まだまだ努力が足りないようです。一層の努力を続けます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	29	46	25		評価はホームページで公開されております。ホームページは開設しておりますが周知されていないようです。保護者様への周知に努めます。
	⑭	個人情報に十分注意している	75	25			まだまだ努力が足りないようです。更なる徹底に努めます。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	33	50	17		それぞれのマニュアルは策定されております。ただ保護者様には伝えておりませんでした。保護者面接の中で周知・説明します。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	13	54	33		今年度は7月と1月に実施しました。ただし、その結果を保護者様にはお知らせしませんでした。来年度も実施し、保護者様への周知を図ります。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	71	29			現時点での問題を乗り越えるために、時には負荷をかけるプランを設定します。そのことがお子様には負担になることがあるかもしれません。
	⑱	事業所の支援に満足している	100				高い評価に満足することなく、更なる精進に努めます。